

<英文法超基礎⑪⑧> Lv.★★☆☆☆ 否定①

①英語における否定語の役割

日本語：文の最後になってから、その文が肯定か否定かがわかる。

英語：否定であることを(1.)ことが多い。

I do not like soccer. 「私はサッカーが好きではない」



英語では、①否定語により何が否定されているのか[2.]、②否定語を文中のどこに置くべきか[3.]を理解することが重要!

①否定の範囲→ notなどの否定語から(4.)に及ぶのが一般的!

「その知らせに誰も驚かなかった」という英文で、anybodyやanyoneが文頭にくると、否定の力の及ぶ範囲外となってしまう。

× Anybody was (not) surprised at the news.

○ Nobody was surprised at the news.

→ nobodyやno oneなどの否定語を文頭に持ってきて、文全体を否定する

②否定語の位置→ 否定語を(5.)に持ってくる傾向が強い!

「彼は来ないと思う」を英語で表すと...

△ I think he will (not) come.

○ I do (not) think he will come.

→ notを文頭に近い位置に置く!

<「私は～ないと思う」タイプ>

I don't (6.)・(7.)・(8.)・(9.)～

I don't suppose he is going to get married. 「彼は結婚しないと思う」

He didn't seem to understand it. 「彼はそのことを理解していないようだ」

他にも(10.)「～と予想する」(11.)「～と推測する」などもある。

他に...

hope 「～を望む」→「12.

be afraid / fear 「～を恐れる」→「13.

→ thinkのように前で否定するのではなく、(14.)を否定する!

▶ I hope they won't lose the race. 「彼らがそのレースに負けないことを願っています」

▶ I'm afraid he won't come. 「残念ながら彼は来れないと思います」

2 notについて

notは否定語としてそれほど強い力を持っていない!

→「すべて」、「必ず」、「いつも」などを「すべて違う」などと全体を否定できない!

① Not all of them attended the meeting.

「彼ら全員が会議に出席したわけではなかった」

② All of them didn't attend the meeting. 「全員が会議に出なかった???」
? ↑ ↓ ?

①では、notがall of themを否定して(15.)となるが、②のようにAllを
アタマに持ってくると、notが文全体を否定しているのか、all of themを否定しているのか、
ハッキリしなくなる…。全体否定にする場合には None of them attended ~. になる!

< notを使う全体否定の例 >

① (16.) [= 17.] 「18. 」 (2者の場合)

I don't know either boy. 「どちらの少年も知らない」

② (19.) 「20. 」 「21. 」 (3者以上)

I didn't talk with any of them. 「彼らの誰とも話さなかった」
= I talked with none of them.

③ (22.) • (23.) 「24. 」

What he said is not wrong at all. 「彼の言ったことは全く間違っていない」

④ (25.) 「26. 」

※ not (~) just [simply] は 「27. 」

I just can't understand it. 「私はそのことが全く理解できない」

He is not just a friend of mine. 「彼は単なる友人ではない」

⑤ (28.) 「29. 」

Not a single question was answered.

「質問はどれひとつとして答えられなかった」

3 部分否定の頻出表現

① (30.) : 「31. 」

② (32.) : 「33. 」

③ (34.) : 「35. 」

④ (36.) : 「37. 」

⑤ (38.) : 「39. 」